

1. ユーロー高のパリ、ミラノ消費市場の変化

今月の6日から13日にかけてミラノ、パリと駆け足で視察してきました。EU統合後、ユーローの割高感とインフレによる物価高騰、逆に所得は減ることがあっても増えない状況で消費市場は冷え込んでいるようです。パリではラファイエット、プランタンが早くも15%OFFのプレセールを開催、私たちの宿泊ホテルにもセールの案内がくるほどでした。サントノーレでの観光客も1ユーローが130円台後半だと割高感一杯で買いものに勢いがつかないようです。そんな中、「H&M」と「ZARA」は何処も大変な混雑で盛況でした。特にZARAより更に価格が安くファッショナブルな「H&M」は商品量も豊富で欠品も少なく売れているように感じましたがこの低価格、高感度ブランドが好調なのは米国のフォーエバー21、日本のユニクロプラスの様に世界的消費傾向の一つの確かな流れのようです。消費の2極化が益々進むなかでファッションに関しては高感度、低価格の一極に流れが集中する感が大です。

2. ラグジュアリーなブルガリホテル(ミラノ)のコンセプトは

昨年オープンしたブルガリのホテルは今回の視察で是非とも見たかったので昼下がりのティタイムに訪ねました。コンセプトはラグジュアリーなカジュアルリゾートです。アルマーニカーサのビルの裏手で閑静な住宅の中にあり、中庭のテラスがバーと隣接しマロニエの巨木と芝が森を連想させ正にアーバンリゾートの感覚です。ロビーや部屋はモダンながら木のぬくもりがあり流石にブルガリです。三井物産の椎名イタリア社長にお聞きしたところ家具と内装は「B&B」とのコラボとのこと。世界のブランドがホテルを手がけ、家具やインテリアに進出する流れがありますがこの流れは既に10年程、西ロスで始まったデザイナーホテル(バイスロイ、モンドリアン等)ラグジュアリーだけどカジュアルのライフスタイルが世界へ確実に広まっていると云えるのではないのでしょうか。

尚、「B&B」は近々、三井物産が手がけ青山界限に出店するそうです。

3. 日本文化の及ぼす影響がコレットにも

パリのセレクトショップ「コレット」は常に時代の先取りをし、世界のファッション人間にNEWを発信し続けていますがこの夏のコレットのウィンドウはキャラクターのフィギュアでした。パリで活躍しているミルビスの朝比奈社長によると日本のアニメや漫画文化がフランスでは大変流行っていて仏文化に影響を受けているそうですがコレットのウィンドウもその影響が大なのでしょうか。

4. 情報が圧倒的に東京集中に対して大阪頑張れと

(SC協会、岩崎会長談)

先日、岩崎会長との会食の席で流通を取り巻く厳しい環境について興味深い、いくつかの課題を御話されましたので要点をまとめてみました。

<今後の課題>

- ① 少子化の異常値(1,289)により将来は年金縮小と消費税増が確実
- ② 東京に情報集中しすぎ、大阪は10対1以下。このままでは大阪は東京に呑み込まれる。大阪独自のやり方で頑張ってもらいたい。東京一極集中は良くない。
- ③ SC業界は以外と元気で拡大傾向、但し需要喚起が出来ていない。
- ④ 需要喚起策としては「メンズ」「シニア」「海外進出」への対応がキーポイント。
- ⑤ 百貨店のSC化とSCへの百貨店としてのキーテナント出店が加速される。
- ⑥ 旧商店街のSC化とコンパクトシティ構想(高齢者に優しい)で地域活性化を図る。

5. 中国ビジネス「6A」

中国とのビジネスを長くやってこられたアパレル、商社、小売専門店、上海の縫製工場の方々からビジネス上の「失敗談」聞きました。

中国ビジネスを始めるときに、①事前の計画は役に立たない②契約は紙っぺら③信賞必罰すべて金、など生々しい失敗の教訓が出されましたが特に中国ビジネス「6A」は民族や文化の違いを思い知らされるものでした。

「6A」とは、あせらず、あわてず、あきらめず、あてにせず、あなどらず、あやまらずですが、この6Aにかかわることが失敗の原因と言うのです。

ファッション業界も第3次中国進出がはじまっている今、こうした先人の教訓は学んでおく必要があるのではないのでしょうか？

そこで失敗談を語ってくれた方々に推薦書はないか？と聞いて見ました。そこで出たのが、明日香出版社の「中国のことがマンガで3時間でマスターできる本」です。ご一読をお薦めしたいと思います。

6. レストラン・ダ・ディーノ

恵比須駅西口から徒歩1分という絶好の立地。でありながらちょっとわかりにくい場所なので隠れ家的感覚なレストラン。お店はこじんまりしていて12人も入れれば一杯といった感じ。この小ささがとても落ちつく。シェフはまだ若いですが、素材の味を生かしながら丁寧に料理を仕上げていき個性豊かな味をかもしだしている。素材の意外な組み合わせにもはっとさせられる。加えて素晴らしいのがこのワイン。御手軽なプライスのものもあるが、ぜひ試していただきたいのが稲垣商店の稲垣さんという方が仕入れているワイン。これは絶品。まだ日本にはおろか海外でもあまり知られていないワインを見つけては輸入されている。この素晴らしいワインとともに楽しむお食事は格別。接客も静かにとても丁寧にしてくれる気持ちのよい店。ゆっくりお食事を楽しみたい時にお勧めのレストラン。

夜はコースで¥6825から。

渋谷区恵比寿南 1-13-11 ヴェル 2F 03-3794-8585

営業時間: ランチ 12:00-13:00(L/O) デイナー 18:00-22:00(L/O)

定休日 : 月曜日